

わが街 Watching My Town Watching

世界にひとつだけの帽子を作ろう！

田川市美術館でワークショップ

7月8日、田川市美術館でワークショップ「世界にひとつだけの帽子を作ろう！」が開かれ約30人の親子が参加しました。

これは、6月29日～7月23日に同館で開催された企画展「光は見えるか 上條陽子とパレスチナの子どもたち」の関連イベントで、参加者はパレスチナの情勢をテーマにした上條さんの作品や現地での活動の様子、パレスチナの子どもたちの作品などを鑑賞した後、上條さん（写真左上）と一緒に帽子作りに挑戦。画用紙や毛糸など、色とりどりのパーツを組み合わせて、オリジナルの帽子を作りました。

参加した山下恋羽さん（後藤寺小学校3年生）は「色や形を想像しながら楽しく作ることができました」と話しました。



▲子どもたちひとりひとりの自由なセンスが光る帽子が誕生しました




▲中島さん(右)にアドバイスを受けながら、上手にプカプカ

体験！着衣で水の中

家庭教育講座で学ぶ水の事故の対処法


7月22日、伊田小学校で家庭教育講座が行われ、子どもや保護者など約20人が参加しました。

これは「田川市社会教育委員の会議」と市教育委員会が共同で主催する家庭教育講座のひとつで、本年度の第1回であるこの日は、子どもの事故の予防をテーマに開催。田川地区消防本部救急救命士の中島貴秋さん指導のもと、参加者は服を着たままプールに入り「あごを上げる・手足を広げて体を反らす」などのポイントを押さえながら、命を守る着衣泳を体験しました。親子で参加した四本直良さんは「服を着て水に入る感覚や、うまく浮くための方法は体験しないとわからないと思う。とても良い機会になりました」と話しました。



大きなアリ塚が目印

日本のアリは、大きなアリ塚を作しません。大きなアリ塚を発見したら、触らず、すぐに通報を。



葉っぱの上のアリ

ヒアリに気をつけて

これまで存在していなかった危険な毒アリが国内で現れています。もし発見しても、決して触らないでください！


ヒアリに関する情報
 ヒアリの発生場所も確認できます
<http://www.emu.go.jp/nature/dobutsu/Insect.html>
(環境省ホームページ)

大きさ 2.5mm~6.0mm

特徴

- カラダは赤茶色
- 腹部に2つのこぶ
- お尻に毒針

刺されると、強い痛みを伴いアレルギー症状がひどくなると重症化することも。



通報先 ●● 県 環境部 (例：東京都 環境局) 検索

もし、刺されて、少しでも異常を感じたら **すぐに近くの病院へ。**
 アリに刺された旨を伝えて受診してください。ヒアリの毒への反応は、人によって大きく異なります。